

2023年3月24日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

「サステナビリティ推進計画」の策定

～ 中小企業で働く方とご家族のウェルビーイングが実現する社会への貢献 ～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）はこの度、当社におけるサステナビリティ経営の基礎となる「サステナビリティ推進計画」を策定しましたので、お知らせいたします。

気候変動や環境問題への対応など、SDGs（持続可能な開発目標）に対する社会的な関心が高まっている昨今、環境・社会の持続可能性に配慮し、SDGsを経営に組み込むことで事業の持続的成長を図る「サステナビリティ経営」は、大企業だけではなく中小企業にとっても大きな経営課題となりつつあります。

T&D保険グループでは2021年5月にグループ長期ビジョンを策定し、長期ビジョンにおけるグループ成長戦略・重点テーマの1つを「SDGs経営と価値創造」として、4つのサステナビリティ重点テーマのもと、事業を通じて経済的価値と社会的価値の双方を創出する「共有価値の創造」に取り組んでおります。

その中で、これまで中小企業とともに歩みを進めてきた当社が、自ら社会的な責任を果たしつつ、中小企業とともに社会課題の解決に取り組んでいくことを明確化するため、本計画を策定しました。

本計画では、当社の企業理念「想う心とつながる力で 中小企業とともに 未来を創る」のもと、「中小企業で働く方とご家族のウェルビーイングが実現する社会」に貢献する企業を目指し、6つの取組領域ごとのアクションプランを明確化するとともに、当社が自ら責任を果たす領域については、2025年あるいは2030年をゴールとするKPIを設定しました。

当社は本計画のもと、中小企業が抱える幅広い社会的課題の解決に貢献するとともに、中小企業の永続的発展を通じた「サステナブルな社会」の実現に貢献してまいります。

以上

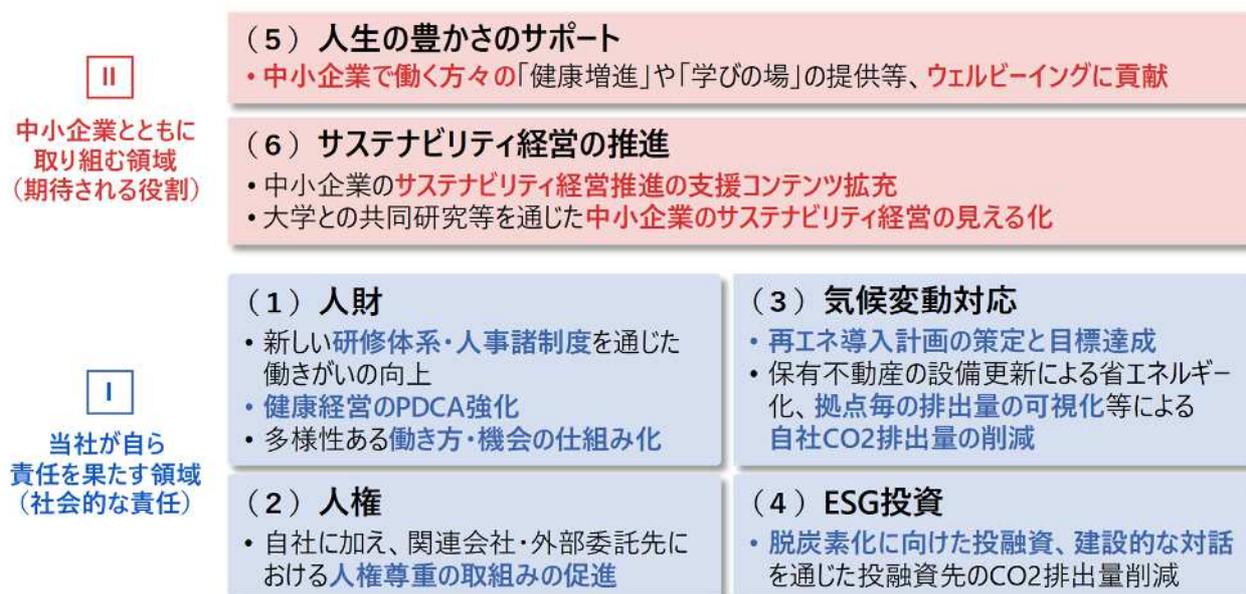
サステナビリティ推進計画

- ・当社自ら社会的な責任を果たしつつ、中小企業とともに社会的課題の解決に取り組み、「中小企業で働く方とご家族のウェルビーイングが実現する社会」に寄与するため、2階層・6つの取組領域を設定しました。



- ・また、2025年に向けた取組領域ごとのアクションプランを明確化するとともに、当社が自ら責任を果たす領域におけるKPIもあわせて設定しました。取組状況は今後、当社のホームページ等で公表してまいります。

< 2025年に向けたアクションプラン >



< K P I (当社が自ら責任を果たす領域) >

取組領域		K P I
(1) 人財	働きがい	① 2025 年度までに 従業員満足度 4.00pt 以上
	健康	② 2025 年度までに プレゼンティーイズム 80%以上 ^{※1}
	多様性	③ 2025 年度までに 女性管理職比率 25%以上
		④ 2025 年度までに 男性育児休業取得率 100%
(2) 人権	人権	⑤ 2025 年度までに 人権デューデリジェンス ^{※2} 実施率 100% (取引先を含む)
(3) 気候変動 対応	再エネ	⑥ 2030 年度までに 自社の使用電力の 60%を再生エネルギー化
	C02	⑦ 2025 年度までに 自社の C02 排出量を 2013 年度比で 40%削減
(4) ESG 投資	排出	⑧ 2030 年度までに 投融資先 ^{※3} の C02 排出量を 2020 年度比で 40%削減

※1. 病気やケガがないときに発揮できる仕事の出来を 100%として、過去 4 週間の自身の仕事をアンケート
(東大 1 項目版) により評価

※2. 企業が人権に与える影響を特定し、対処するための継続的なプロセス

※3. 国内上場企業の株式・社債・融資

以 上